

# 「企業の農業参入」～担い手不在地域への参入～

## 間口アグリファクトリー株式会社 (山県郡北広島町)



代表取締役 浅沼 康宏

参入年月 平成29年12月

経営面積 15.7ha

(うち機構活用面積15.7ha)

生産品目 キャベツ

従業員 役員3名 常時雇用 1名

経営の特徴

水田を利用した土地利用型

園芸作物の生産

### ～事例のポイント～

- ① 営農集団の協力により、まとまった農地を確保
- ② 新たな地域農業の担い手としてキャベツを生産

### 地域の課題

北広島町西宗地区は中山間の稲作中心地域で、西宗集落と宮ノ下集落の2集落からなり、平成12年にほ場整備を実施しています。生産者の高齢化で管理ができず、不在地主も増加する一方で、地区内の担い手も経営的にこれ以上規模拡大できない状態であったことから、新たな担い手の確保が課題となっていました。

### マッチングのきっかけ

間口アグリファクトリー(株)は、グループ会社が行う野菜の収穫代行業務の経験を活かし、まとまった農地があれば自ら生産する事も検討していました。そのような中、西宗地区では担い手が不在で、受け手を探しているという情報があり、参入に至りました。

関係機関からの助言もあり、広島県が生産振興している品目の一つであるキャベツで参入することが決まりました。

### 調整役(地域の取りまとめ役の皆様)のコメント

西宗地区の2つの営農集団を窓口にも農地所有者へ働きかけを行いました。組合員の皆さんのまとまりがよく、調整をスムーズに行うことができました。

農地の仲立ちには行政・公的機関がバックアップいただいたことも企業へ農地を貸し出すことへの安心感につながりました。



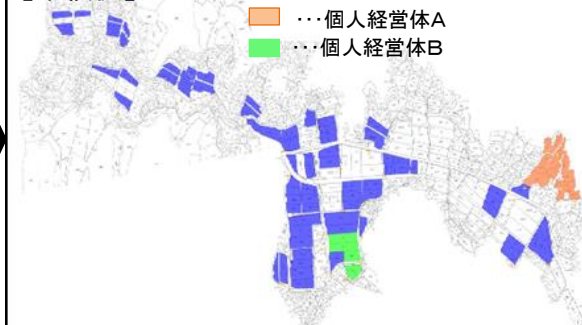
(左から)格井原集団長、迫本集団長、西村さん。行政機関や参入企業との橋渡し役をしていただきました。

農業だけでなく地域行事への参加や、中山間地域等直接支払制度に係る集落協定への参画など地域の担い手の一員としても期待しています。

### 【集積前】



### 【集積後】



(左写真)農場長をされている松本さん。参入前は配送業務をされており、参入後初めて農業に携わられました。「農業に出会って本当に良かった。スキルを高めて1人前の生産者になりたい」と心強い言葉をいただきました。

### 機構を活用して良かったこと 今後の経営の抱負

参入にあたり、関係機関からの助言で、農地中間管理事業を活用することとなりました。また、様々な支援体制があったことが大変心強かったです。

まずは経営計画に沿った生産、販売ができるよう、着実に取り組んでいきたいです。